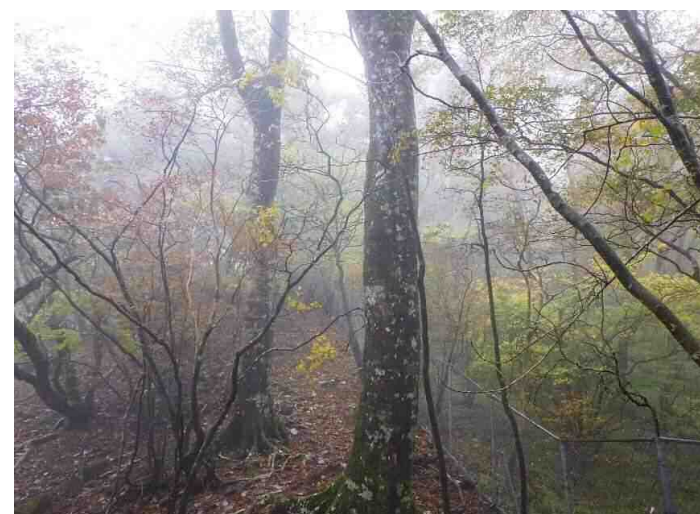


大塔山モミ・ツガ・ブナ希少個体群保護林

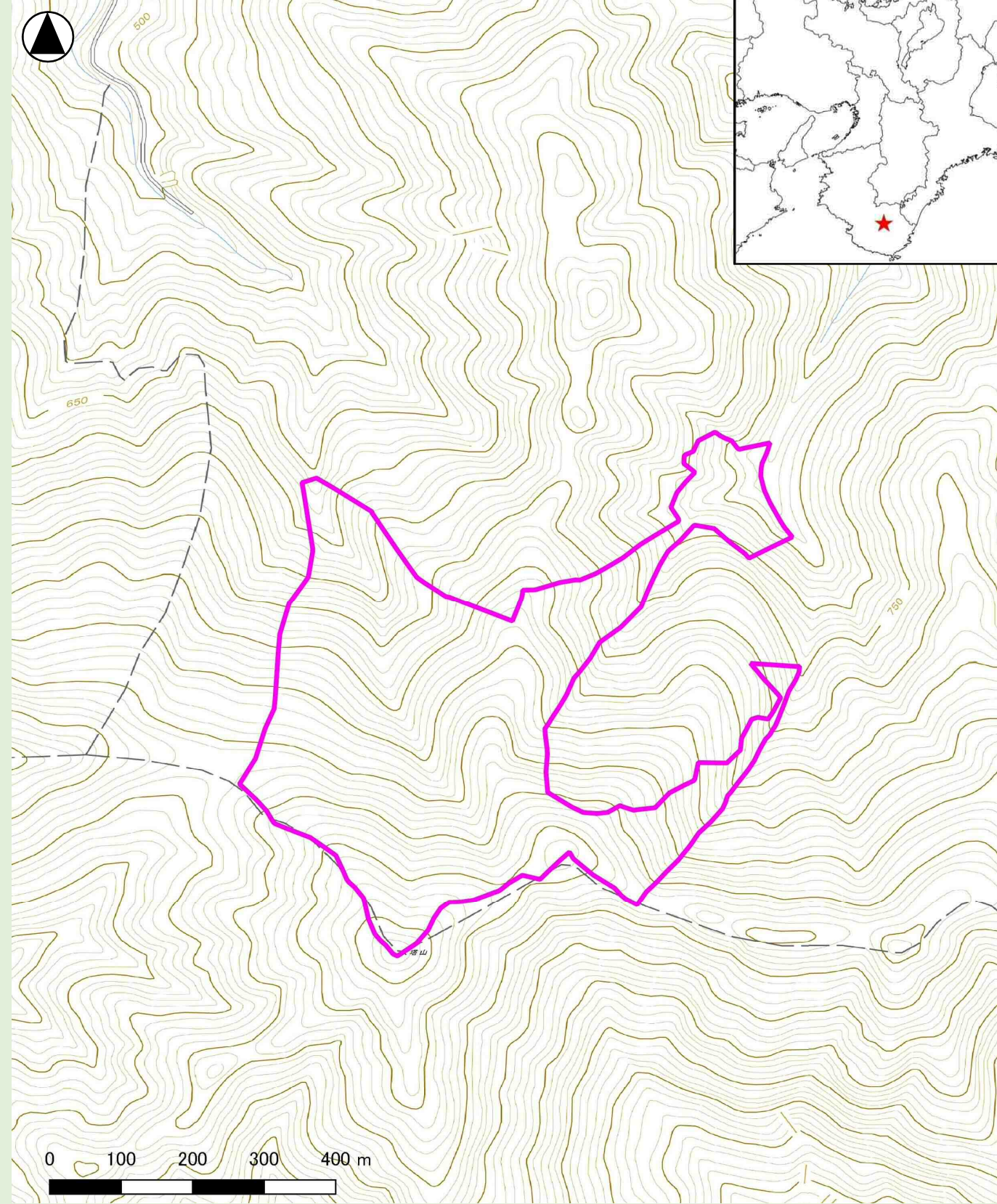
管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・和歌山森林管理署
所在地・面積	和歌山県田辺市 ・ 29.57ha
設定年	平成5年4月1日設定、平成21年4月1日拡充、平成30年4月1日再編に伴う名称変更及び管理方針書設定
保護林の概要	<p>当該区域は、大塔山山頂から北側に位置し、急峻な地形と深い溪谷から成り立っている。護摩壇山～大塔山にかけては紀州の屋根と呼ばれ、ブナの自然林が残存している貴重な地域であり、大塔山のブナ林は本州南限となっている。</p> <p>森林植生は、モミ、ツガ、ブナの大径木が生育したコクスゲツガ群集が尾根を中心に分布しており、大塔山山頂付近はブナが優占したシラキブナ群集となっている。</p> <p>大塔山山頂のブナ林は平成10年に誤伐被害を受けたが、現在は防鹿柵が設置されて下層植生のミヤコザサが再生し、ブナの稚樹も発生しており、自然力の回復に委ねた森林再生が継続されている。</p>



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、保護対象種生育状況調査、利活用実態調査、管理体制実態調査
結果概要	<p>保護対象種であるモミ、ツガ、ブナは良好に生育していると判断され、母樹となるツガ、ブナの大径木が多数確認され、モミの稚樹の更新サイトも確認された。</p> <p>今回調査したツガ群落の森林は、現状において原生的な天然林が維持されているが、ニホンジカの食害により下層植生が貧弱となり、低木層以下で嗜好性植物が優占している状況が確認されていることから、群落の維持・更新への影響が懸念される。ただし、防鹿柵内において、ササ層の回復が確認された。</p> <p>これらのことから、当該保護林はニホンジカによる森林被害が顕在化している地域と判断される。</p>

大塔山モミ・ツガ・ブナ希少個体群保護林 位置図



保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
- ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
- ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。